

工事監理状況報告書(鉄筋コンクリート造)

令和7年7月1日作成 高崎市

中間検査

(あて先) 建築主事

令和 年 月 日

確認済証番号	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
" (変更)	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
工事場所	建築主 氏名	

上記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法12条5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	工事監理者	会社住所	
		会社名	
		報告者名	

確認事項		確認を行う照合内容	照合方法※1	照合結果※2	備考
			A:目視		
			B:計測		
			C:その他		
1	確認表示板 (法89)	1 建築確認表示板の設置	A	適 : 不適	
2	工事現場の危害の防止 (90条)	1 仮囲い、防護ネット、山留	A	適 : 不適	
3	敷地の衛生及び安全性 (法19)	1 がけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	A : B : C	適 : 不適	
4	敷地と道路の関係 (法40 42 43)	1 道路の幅員	A : B : C	適 : 不適	
		2 道路に接する敷地の長さ	A : B : C	適 : 不適	
		3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	A : B : C	適 : 不適	
		4 2項道路の後退	A : B : C	適 : 不適	
5	敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52～54)	1 敷地形状及び高低差	A : B : C	適 : 不適	
		2 基礎形状 (建物形状)	A : B : C	適 : 不適	
		3 建物配置 (道路、隣地からの離れ)	A : B : C	適 : 不適	
6	道路斜線 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	A : B : C	適 : 不適	
		2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	A : B : C	適 : 不適	
7	基礎・地盤 (令38、79、告示1347) (令77、78、79) (令73、告示1463) (令73、告示1463) (令72、74、告示1102) (令76、告示110)	1 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法 (	A : B : C	適 : 不適	
		2 地耐力が得られなかった場合の措置について 措置の内容 (	A : B : C	適 : 不適	
		3 杭種・工法・打設結果の確認	A : B : C	適 : 不適	
		4 径、長さ、本数	A : B : C	適 : 不適	
		5 杭偏芯の有無・処理 (基礎・梁の補強)	A : B : C	適 : 不適	
		6 杭頭処理	A : B : C	適 : 不適	
		7 主筋・あばら筋等の本数、径及び間隔、かぶり厚	A : B : C	適 : 不適	
		8 主筋の定着	A : B : C	適 : 不適	
		9 継手の位置	A : B : C	適 : 不適	
		10 梁貫通補強	A : B : C	適 : 不適	
		11 コンクリートの品質・規格	A : B : C	適 : 不適	
		12 型わく及び支柱の除去	A : B : C	適 : 不適	
		13 基礎出来形 (各部材の形状、寸法の確認)	A : B : C	適 : 不適	
8	基礎・上部共通	1 配筋仕様の別 ☐ 大臣官房 ☐ JASS ☐ その他 ()	A : B : C	適 : 不適	
		2 鉄筋の品質・規格 (ミルシートの確認)	A : B : C	適 : 不適	
		3 継手の接合方法 ()	A : B : C	適 : 不適	
		4 継手試験方法・結果 ☐ 引張り ☐ 超音波探傷	A : B : C	適 : 不適	
9	上部構造 全体 (令73、79)	1 鉄筋の乱れ、踏み荒らし、波打ち、たるみの有無	A : C	適 : 不適	
		2 柱、梁、耐力壁、スラブの配置	A : C	適 : 不適	
		3 かぶり厚さの状況	A : B : C	適 : 不適	
		4 型枠中の清掃状況 (木片、その他のゴミ)	A : C	適 : 不適	

確認事項			確認を行う照合内容		照合方法※1	照合結果※2	備考
					A:目視		
					B:計測		
					C:その他		
	柱（令77）	5	主筋本数、径、配置方向（次階の主筋を含む）		A：B：C	適：不適	
		6	各階止まり柱頭主筋の止まり高さと定着状況		A：B：C	適：不適	
		7	柱仕口部分の帯筋の径、間隔		A：B：C	適：不適	
		8	第一帯筋の位置と柱頭拘束帯筋の有無		A：B：C	適：不適	
	梁（令78）	9	主筋、あばら筋、腹筋、幅止め筋の状況		A：B：C	適：不適	
		10	主筋の定着方法、長さ		A：B：C	適：不適	
		11	中吊り筋の位置		A：B：C	適：不適	
		12	継手の位置、長さ（重ね継手の場合）		A：B：C	適：不適	
		13	片持ち梁の主筋の位置と定着		A：B：C	適：不適	
		14	貫通孔の位置、補強方法		A：B：C	適：不適	
		15	ハンチ部分のあばら筋補強		A：B：C	適：不適	
	スラブ	16	主筋方向、径、間隔、スラブ厚		A：B：C	適：不適	
		17	定着方法、長さ		A：B：C	適：不適	
		18	継手の位置、長さ		A：B：C	適：不適	
		19	片持ちスラブの定着と上端筋位置		A：B：C	適：不適	
		20	隅部、開口部、設備配管に対する補強		A：B：C	適：不適	
	壁	21	縦筋の定着方法、長さ		A：B：C	適：不適	
		22	壁交差部の縦筋補強		A：B：C	適：不適	
		23	スリットの位置、施工状況		A：B：C	適：不適	
	その他	24	設備配管（CD管等）の配置		A：B：C	適：不適	
※3	10 その他				A：B：C	適：不適	
					A：B：C	適：不適	
					A：B：C	適：不適	
					A：B：C	適：不適	

※4 その他の照合方法	

検査に用いる図書の例	確認関係図書	■確認申請図書 ■告示第1347号による基礎構造図
	工事監理記録	■支持地盤確認 ■配筋検査 ■型枠施工検査
	使用材料の品質を示す書類	■鉄筋ミルシート ■コンクリート試験結果等 ■使用材料品質証明書
	検査結果報告書	■杭工事施工結果報告書 ■コンクリート工事施工結果報告書
		■自主検査報告書
※5	その他	■工事写真 ■認定・評定書の写し ■各種施工要領書

※1 照合方法は、A：B：Cに○印を記入して下さい。（該当しない項目は記入しないで下さい）

※2 照合結果は、「適」・「不適」のいずれかに○印を記入してください。工事施工者が注意に従わなかった場合は「不適」に○印を記入し、建築主に対し報告した内容を備考に記入して下さい。

※3 確認事項の項目にないものは、「10その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載してください。

※4 照合方法が「C:その他」の場合は、その項目番号とその他照合の動作や試験結果成績書等による具体的方法を記入して下さい。

※5 「■」の図書について、該当する工事が無い場合は用意不要です。